《ひまわり》

作　家　フィンセント・ファン・ゴッホ
制作年　1888年
技　法　油彩・カンヴァス
サイズ　100.5cm×76.5cm

ゴッホの代表作のひとつ。1888年2月、ゴッホは南フランスのアルルに向けてパリを出発する。彼はそこで画家仲間との共同生活を計画し、指導者として敬愛する画家ポール・ゴーギャンを招待した。《ひまわり》はゴーギャンの到着を待ちながら、その部屋を飾るために描かれたものである。

当館が収蔵する《ひまわり》は、この8月に描かれた1点目の「黄色い背景のひまわり」（ロンドン、ナショナル・ギャラリー蔵）をもとに、ゴッホがゴーギャンと共同生活を送っていた1888年11月下旬から12月上旬頃に描かれたと考えられている。基本的な色や構図はロンドンにある作品と同じだが、タッチや色調は異なっており、ゴッホが単なる複製を描くのではなく、考察を重ねながら本作に取り組んだことがうかがえる。

SOMPO美術館
Sompo Museum of Art